

令和6年度 61回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅰ 回復期・慢性期援助論	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和6年6月21日	単位数/時間	1単位/30時間 以下の3単元で構成される ①急性期援助論:10時間 ②回復期・慢性期援助論:12時間 ③終末期援助論:8時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属/役職	専任教員
		資格・免許	看護師
	千葉 美香	所属/役職	県立軽米病院 看護師
		資格・免許	慢性疾患看護分野専門看護師
授業の概要	回復期・慢性期にある対象の具体的な看護実践の内容と方法を学ぶ		
到達目標	1. 経過別リハビリテーション看護について理解できる。 2. 国際生活機能分類(ICF)の構成要素について知り、相互作用について考えることができる。 3. 障害がある人の、障害の認識過程を理解できる。 4. 行動変容を促すアプローチについて理解できる。 5. 効果的な症状マネジメントを導くアプローチについて理解できる。		
事前学習内容	毎回テキストを読んで予習してくる		
成績評価の方法	回復期援助論:石崎担当 筆記試験 40点 慢性期援助論:石崎担当 演習課題 20点 /千葉担当 筆記試験 40点 /合計 100点 ※3単元(上記①②③)の平均点が科目の成績評価となる。 各単元で6割に満たない場合は再試験となる。		
使用テキスト	医学書院 成人看護学総論 第16版第2刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	回復期にある患者の看護(1):第8章 経過別リハビリテーション看護、国際生活機能分類(ICF)		講義
第2回	慢性期にある患者の看護(1):第3章 行動変容を促進するアプローチ、トランスセオレティカルモデル		講義
第3回	慢性期にある患者の看護(2):第3章 症状マネジメント、意思決定支援、集団へのアプローチ、家族支援		講義
第4回	回復期にある患者の看護(2):第8章 障害受容の理解と援助		講義
第5回	患者指導におけるアプローチの方法(1)		演習
第6回	患者指導におけるアプローチの方法(2)		演習
履修上の留意点	・授業の順番が変わることがあるため、時間割で確認する。 ・分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する。		

令和6年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (呼吸器系看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和 6 年 9 月 18 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ <u>呼吸器系</u> : 10 時間 ・ 循環器系 : 10 時間 ・ 消化器系 : 10 時間
担当講師名	黒沢 純平	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	呼吸器系に疾病や障害を有する人々の看護を学ぶ		
到達目標	1. 呼吸機能障害がもたらす生命・生活への影響を理解する 2. 呼吸機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	1 年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…呼吸器系を中心に ・ 疾病と治療Ⅱ（呼吸器）		
成績評価の方法	試験(100 点)		
使用テキスト	新体系看護学全書 成人看護学② 呼吸器 第 5 版第 1 刷 メヂカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	序章 呼吸器疾患をもつ成人を理解するために		講義
第 2 回	第 2 編 呼吸器疾患患者の看護 第 1 章 主な症状に対する看護		
第 3 回	第 2 章 主な検査と治療に伴う看護		
第 4 回	第 3 章 呼吸器疾患をもつ患者の看護 ①		
第 5 回	第 3 章 呼吸器疾患をもつ患者の看護 ②		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和6年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (循環器系看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和6年6月4日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ 呼吸器系 : 10時間 ・ <u>循環器系</u> : 10時間 ・ 消化器系 : 10時間
担当講師名	藤野 千尋	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	循環器系に疾病・障害を有する人に対する看護を学ぶ		
到達目標	循環機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実践を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業内容の復習 ・ 解剖学と生理学…循環器系(心・血管系) ・ 疾病と治療Ⅱ(循環器)		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	新体系看護学全書 成人看護学⑪ 循環器 第6版第1刷 メヂカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	序章 循環器疾患をもつ成人を理解するために		講義
第2回	第2編 循環器疾患患者の看護 第1章 主な症状に対する看護		
第3回	第2章 主な検査と治療に伴う看護		
第4回	第3章 循環器疾患をもつ患者の看護 ①		
第5回	第3章 循環器疾患をもつ患者の看護 ②		
7/22 予定	終講試験		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和6年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅱ (消化器系看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和6年6月5日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ 呼吸器系 : 10時間 ・ 循環器系 : 10時間 ・ <u>消化器系 : 10時間</u>
担当講師名	山根 智草	所属・役職	県立宮古病院 主任看護師
		資格・免許	看護師
授業の概要	消化器系に疾病・障害を有する人に対する看護を学ぶ		
到達目標	消化器系疾患や消化器症状のある患者に対する看護を理解し、臨床場面で応用できる		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…消化器系 ・ 疾病と治療Ⅲ(消化器系)		
成績評価の方法	終講試験（100点）、授業態度を踏まえて評価する（著しく態度が悪い場合は減点）		
使用テキスト	新体系看護学全書 成人看護学⑤ 消化器 第6版 第1刷、メヂカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	序章 消化器疾患をもつ成人を理解するために		講義
第2回	第2編 消化器疾患患者の看護 第1章 主な症状に対する看護		講義
第3回	第2章 主な検査・治療に伴う看護		講義
第4回	第3章 消化器疾患をもつ患者の看護		講義
第5回	事例検討、まとめ		講義・GW
7/11 予定	終講試験		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、自身で調べて学習を深めていくこと		

令和6年度 61回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅴ (運動器系看護)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年前期 令和6年6月5日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ <u>運動器系看護</u> : 10時間 ・ 腎・泌尿器系看護 : 10時間 ・ 膠原・アレルギー看護 : 10時間
担当講師名	堀合 省吾	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師
授業の概要	運動器系に疾病・障害を有する人に対する看護を学ぶ		
到達目標	1. 運動器疾患が患者に与える影響を考え、看護に必要な情報とアセスメントの視点を理解する 2. 疾病の経過別、症状や障害に対する看護を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した以下の授業の内容を復習しておく ・ 解剖学と生理学…筋・骨格系 ・ 疾病と治療Ⅳ（運動器系）		
成績評価の方法	終講試験(100点)、授業態度を踏まえて評価する（著しく態度が悪い場合は減点）		
使用テキスト	新体系看護学全書 成人看護学⑩ 運動器 第5版 第1刷 メヂカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	序章 運動器疾患をもつ成人を理解するために		講義
第2回	第2編 第1章 主な症状に対する看護		講義
第3回	第2章 主な検査と治療に伴う看護		講義
第4回	第3章 運動器疾患をもつ患者の看護 ①		講義
第5回	第3章 運動器疾患をもつ患者の看護 ②		講義・演習
7/10 予定	終講試験		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	成人看護援助論Ⅴ (腎・泌尿器)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和6年1月25日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・運動器：10時間 ・腎・泌尿器系看護：10時間 ・膠原・アレルギー系看護：10時間
担当講師名	講師名	所属・役職	資格・免許
	今村 英憲	岩手県立宮古病院・看護師長補佐	看護師
授業の概要	腎・泌尿器系に疾病・障害を有する人々の健康回復に向けた具体的な看護実践を学ぶ。また、回復期にある患者の事例をとおり、その看護実践を学ぶ		
到達目標	腎・泌尿器の機能障害に応じた看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	腎・泌尿器系に関する既習の内容(解剖学、生理学、疾患)を復習してから授業に臨む		
成績評価の方法	試験 (100点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧腎・泌尿器(第15版), 医学書院, 2019.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって A. 医療の動向と看護 B. 患者の特徴と看護の役割 第6章 患者の看護 I. 疾患をもつ患者の経過と看護		講義
第2回	第6章 患者の看護 II. 症状に対する看護		
第3回	第6章 患者の看護 III. 検査を受ける患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護		
第4回	第6章 患者の看護 IV. 内科的治療を受ける患者の看護 C. 透析療法を受ける患者の看護		
第5回	第6章 患者の看護 V. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおりしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む		

令和5年度 60回生 授業概要（シラバス）

科目名	成人看護援助論Ⅴ (膠原・アレルギー)	分野/教育内容	専門分野/成人看護学
開講年次・時期	2年後期 令和6年1月18日～2月	単位数/時間	1単位/30時間 <u>膠原・アレルギー看護：10時間</u> 運動器系看護：10時間 腎・泌尿器看護：10時間
担当講師名	石崎美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	アレルギー・膠原病を有する人々の健康回復にむけ、具体的な看護実践の方法を学ぶ		
到達目標	アレルギー・膠原病疾患患者の看護と検査・治療に伴う看護の実際を理解する		
事前学習内容	疾病と治療Ⅴ「膠原・アレルギー」の復習をして授業に臨む		
成績評価の方法	終講試験（100点）		
使用テキスト	系統看護学講座 成人看護学 [11] アレルギー-膠原病感染症（第15版第3刷）, 医学書院, 2022. 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚（第15版第3刷）, 医学書院, 2022.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	アレルギー疾患患者の看護（アレルギー第5章：テキスト p58～108）		講義
第2回	事例による看護計画立案演習 （1）気管支喘息患者の看護（2）アナフィラキシー患者の看護		演習 講義
第3回	膠原病患者の看護（膠原病第6章：テキスト p178～214）		講義
第4回	事例による看護計画立案演習 （1）全身性エリテマトーデス患者の看護（2）関節リウマチ患者の看護		演習 講義
第5回	まとめ／練習問題・解説		講義
履修上の留意点	(1) 第1回には「気管支喘息」「アナフィラキシー」について復習して臨む。 (2) 第3回には「全身性エリテマトーデス」「関節リウマチ」について復習して臨む。 (3) 演習の際（第2・4回）は、テキストの他に各自で必要な参考書を持参してください。		